

	<p>京都大学 医学系分野</p>
<p>学部・研究科名</p>	<p>医学部（第1年次：107）                  ※医学科を記載。                  医学研究科（M：20 D：163 P：34）                  ※M：医科学専攻を記載。                  ※D：医学専攻、医科学専攻、社会健康医学系専攻を記載。                  ※P：社会健康医学系専攻を記載。                  再生医科学研究所                  ウイルス研究所                  放射線生物研究センター</p>
<p>沿革・設置目的</p>	<p>医学に関する教育・研究を行うことを目的に、第三高等学校医学部第三高等学校医学部、京都帝国大学医科大学を経て、昭和26（1951）年に京都大学医学部として設置された。</p> <p>昭和16年（1941年） 結核研究所附置（平成10年（1998年）に再生医科学研究所に改組）</p> <p>昭和24年（1949年） 新制京都大学設置</p> <p><u>昭和26年（1951年） 新制京都大学医学部設置</u></p> <p>昭和30年（1955年） 大学院医学研究科設置</p> <p>昭和31年（1956年） ウイルス研究所附置</p> <p>昭和51年（1976年） 放射線生物研究センター設置</p> <p>平成16年（2004年） 国立大学法人に移行</p> <p>平成20年（2008年） 再生医科学研究所が共同利用・共同研究拠点に認定</p> <p>平成22年（2010年） ウイルス研究所、放射線生物研究センターが共同利用・共同研究拠点に認定</p>
<p>強みや特色などの役割</p>	<p>○ 京都大学の理念等に基づき、自由の学風のもと、世界に誇る独創的な学術研究を推進する医学研究者及び医学・医療の分野で指導的な役割を果たす医師養成を積極的に推進する。特に、基礎研究医養成のための教育システムの構築を行うとともに、全学的取組として英語力や教養力の強化等によるグローバル人材育成、研究科や研究所等部局の壁を越え分野融合的な教育研究を推進する体制を整備する。</p> <p>○ 学問の源流を支える基礎研究及びその実績に基づく応用研究や異分野融合による最先端医学研究等、基礎医学、臨床医学の諸分野の研究を推</p>

進し、革新的な医療技術の開発や医療水準の向上に貢献する。特に、医学系各組織の柔軟な再編・連携・融合を進めながら、iPS 細胞・ES 細胞・組織幹細胞の研究を基盤とした再生医療技術の開発、がんを始めとした各種難病の克服に向けた最先端研究やレトロウイルス研究などを重点的に推進し、我が国発の研究成果として広く世界に発信する。

- 臓器移植手術の実績を蓄積するとともに、再生医療やがん治療など独創的先進的医療の展開を推進する
- 橋渡し研究支援拠点として、基礎研究成果の臨床への橋渡しを強力に支援することにより研究成果の実用化を推進するとともに、臨床研究中核病院として、国際水準の質の高い臨床研究や難病等の医師主導治験を推進するための中心的な役割を果たす。特に産官学連携を積極的に推進することにより、創薬・医療機器開発の我が国発の国際的医療イノベーション創出拠点としての役割を果たす。
- 特定機能病院、都道府県がん診療連携拠点病院、地域周産期母子医療センター、第二種感染症指定医療機関等としての取組とともに主要な関連病院や近隣の医科大学とのネットワークによる臨床研究の支援や専門医の育成・人事交流などを通じて、地域医療向上のための中核的役割を担う。